

「駅前再整備を考えるワークショップ」の議事録

令和6年11月16日14時～

於：甲緑地域福祉センター

【出席者】まちづくり協議会人8人/市まち再生推進課1人/アドバイザー1人・スタッフ3人/
一般参加・大人22人/子ども6人

・辻アドバイザーから、今回は「どんな駅前になったらうれしい？」をテーマに「ワークショップ」を行うが、1グループを全員発言できる7～8人にして4グループに分けた。

・最初に、ワークショップの約束・ルールを説明した。そのあと、

- ① あなたが望む山の街駅周辺のイメージは？
- ② 重要だと思う駅前の整備項目は？

上記2点のテーマについて、参加者全員がそれぞれ自分の思う項目にシールを貼り、関心度を確認し、参加者が駅前再整備の全体的なアウトラインを掴んでいただいた。

・その後、各グループで各自が意見や提案を活発に出し合い、それぞれのグループで議論が行われ、各グループリーダーにより、出された意見・要望を整理しまとめられた。

【ワークショップの意見の取りまとめを各グループから報告】

★親子グループからの報告

- ① 買物＝営業時間が短い。コンビニがあったらいいな。
- ② お母さん方が集まれるフリースペース(場所)があるといいな。子どもたちも一緒におれる。近くに交番があると安全性が高まる。ただし、トイレがほしい。
- ③ 駅はきれいにしてほしい。ただし、レトロな駅がいい。ホームがカーブで隙間があり危ない。解消しがたい。
- ④ 駅周辺の道路を明るい歩道を整備してほしい。山の街全体に歩道が整備できるか、なかなか難しい。
- ⑤ 後から付け刃的な踏切だ。歩行者と車の関係を安全になるよう整理してほしい。
- ⑥ 安全で便利でアットホームな居心地の良い駅前にしてほしい。

★グループ1からの報告

- ① 7名でミーティングした。山の街の好きなどころ。穏やかで静かなところがいい。緑、自然がいっぱいなところ、ちょうどよい程度の田舎というところが大好きだ。治安の安全だというところが、山の街が好きで、今住んでいる理由である。
- ② 山の街にたらないところについて、意見を出してもらった。一番大きな問題は、交通安全、車道の問題、歩道の問題、どれくらいの幅の歩道が必要か、電動車イスの利用が増えてきている。最低2mぐらいの歩道がほしい。
- ③ 駅前に車の乗降スペースがない。非常に危険で、乗降スペースがほしい。バスのロータリーの方へ車がスムーズに行けるようになれば、改札口もあるので、乗降スペースを確保してもよいのではないか。
- ④ 生活するうえで、利便性が足りない。コンビニ、飲食店を増やしてほしい。大型のスーパーマーケット、あったたらいいが、需要と供給の問題で、なかなか難しい。

い。地域コミュニティーバスで神戸北町へ行けるバスができればいいな。

- ⑤ 踏切の拡張の意見、第2踏切も危険で幅を拡げてほしい。
- ⑥ 災害関係、入江医院の前の道路、大雨が降った時、川のように水が流れている。
- ⑦ 交番所を早く設置してほしい。
- ⑧ キックボード(電動)が増えてきている。
- ⑨ 地域福祉センター前一方通行の道を逆走する車がある。
- ⑩ まちづくりをするにあたり、緑を残し自然豊かなまちを維持してほしい。

★グループ2からの報告

- ① 交通の問題、車も人も安全な駅前が意見の中心になった。車道幅は拡げて歩く人にとっても安全な空間にしてほしい。シニアカーも走りやすい道に。
- ② 車の乗り降りが安全にできるスペースもほしい。
- ③ 賑わいが欲しい。ATMがあるコンビニとか商店、駅前の顔になるものがほしい。高齢者にも住みやすい施設がほしい。交流が生まれるような軽食とか喫茶ができるような場所も欲しい。
- ④ 駅舎では、下りホームに改札がほしい。駅前のロータリーを活用して賑わいに繋げていけたらいい。山小屋風の駅舎がいい、レトロさを大事にしてほしい。
- ⑤ やきもち地蔵も大事にしたい。災害時を考え、広めの防災公園を。

★グループ3からの報告

- ① 地域の方が触れあえるスペースがほしいとの意見が大きく出ていた。お子さんの居場所づくりで児童館を整備できればとのことだが、小さい方だけでなく、ご高齢の方の居場所づくりも、年齢を問わず、若い方、ご高齢の方、小さい方も集えるような居場所づくりをつくりたい。
- ② 駅周辺にシャッター店舗が結構多い、場所はあるが活用されていない。空き店舗を間借りして、皆さんがふれあえる場所にしたらという意見がでた。
- ③ 安全面で、道幅がせまいので、拡げてほしい。歩道をつくってほしい。
- ④ 駅の近くに小規模の保育園があったら、子どもを預けてすぐに出勤できる。

【辻アドバイザーが全体を総括して】

- ・各グループ、道路の問題が必ず出てくる。歩道が欲しい。歩道は2mいる。車道が狭くなり、車がすれ違えなくなる。歩道をつくろうとすると、宅地の部分を道路に提供せざるをえなくなる。可能かどうか今後考えていかなければならない。法律的に決めるやり方と、みんなで、その並びの人で道路の空間を提供しようというやり方などがある。課題として、どう解決していくか、今後考えていきたい。
- ・各グループの発表の内容を模造紙に絵で描いて、全員で確認した。
- ・都心の賑わい(外から来た人のための賑わい=派手な賑わい)ではなく、山の街らしい駅前の賑わいは、朝の通勤通学の人、在宅で生活している人、子どもたち、いろんな人たちにとっての賑わいであり、落ち着いた賑わい、例えば「駅舎もレトロな感じがいいではないか」という意見にも反映されている。今後、山の街の駅前にふさわしい皆さんが楽しめる賑わいとはどういうものなのかを、もう少し突っ込んで考えるネタができたと思う。

- ・ 駅舎の改築も神鉄と話し合っているところですが、住民の皆さんの日常生活が豊かになる駅前の賑わい見いだせていければよい。一番わかりやすいのがコンビニです。コンビニが出店するかどうか、皆さんが買い物するかどうか、場所が提供されるかどうか、で決まってくる。
 - ・ 「ふれあい・交流」「フリースペース」という言葉がでましたが、そういう場が必要という意見が強い。駅前のクランク道路を整備するとき道路と宅地の関係が変わってくる。そのなかで、車の乗降スペースも含めたかたちで、「フリースペース」的なものにつながるものができるかどうか、今後、相談していきたい。
 - ・ 本日のワークショップは、「どんな駅前になったらうれしい？」をテーマに話し合ってきたが、「山の街らしい賑わいとは」を今後もう少し突っ込んで協議しようと言うところが見えてきた点をコンセンサスとしたい。
- 以上のような視点を総括として集約された。

【神戸市まち再生推進課の田村さんからの報告】

北鈴ランドというまちづくりを支援している方が、山の街駅の北改札口横のシャッター店をレンタルするらしい。飲食とか物産を販売するコミュニティースペースを検討しており、12月頃からテスト的にオープンするとの話があった。まちづくりの点からもいいタイミングなので、若い方やご高齢の方などからいろんな意見をいただいて、うまいことマッチできたらいいなと思っている。